

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立大東小学校(埼玉県)

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる授業デザイン

学習のゴールや学び方、学習形態を児童が選ぶ

①ゴールは？	ミッション!	大きな数の「わり算」の計算のしかたを考えよう
	B	今日の間違いをとくことができた。(答えがわかった)
	A	B+ どうやって間違いをといたか、せつめいが書けた(できた)
	S	A+ 今までのわり算やかけ算とのちがいが、にているところをまとめた。

②学習の進め方は？			その他にあれば書く↓
1人で考える	友だちと考える。	先生にヒントをもらう。	

③今日の間違いがわいたら何をします？		その他にあれば書く↓
今日の間違いをちがう考えかたでやる	友だちと話しあったり教えたりする。	
計算ドリルをすめる。	スタサブやドリルパークをやる。	

※はじめにゴールをきめたときには黄色で塗ろう。途中で最後に変わった場合は赤で塗ろう

<学習の流れ>	
(1)	ループリック完成
(2)	今日の問題をとく
(3)	自分の考えをスキャク(写真をとり)して、Teansに投稿する。
(4)	練習問題や④にとりくむ。
(5)	授業が終わる5分前に、もう一度自分のループリックをかくにんし、ふりかえりを書く。
	ふりかえりシート



一人でじっくりと進める



友達と協働しながら進める

ループリック・学習過程を示す



先生と丁寧に進める



図書室



教室

学ぶ場所も児童が選ぶ



必要に応じて一斉指導で示す

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる授業デザイン

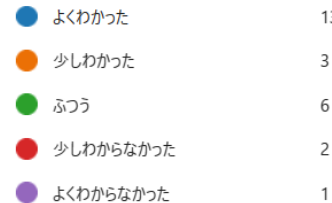
一斉指導型・個別指導型の授業の比較

- ・ 4年生の算数「およその数」の2時間目を一斉指導型、3時間目を個別指導型で行った。
- ・ 2つの授業の中で、以下の活動がどのくらいあったか集計した。

一斉指導型	活動時間	個別指導型
24分 1秒	教師が話している時間 (発表を聞く時間も含む)	5分 35秒
16分 48秒	教師が 児童を支援している時間	36分 57秒
30分 16秒	児童が 活動している時間	38分 1秒
11分 31秒	児童が 話を聞いている時間	4分 5秒
12分 33秒	児童が 協働している時間	32分 50秒

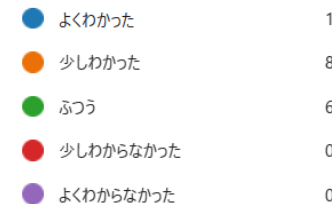
1. 授業はどれくらいわかりましたか。(0点数)

一斉指導型



1. 授業はどれくらいわかりましたか。(0点数)

個別指導型



練り上げの様子



情報収集の様子



- ・ 個別指導型は、教師が話をしている時間が一斉指導型と比べて4分の1程度である。
- ・ その分児童を支援している時間は約2倍、児童が協働している時間は約3倍となった。
- ・ 教師が支援している時間が多いため、理解できなかった児童がいなくなったと分析した。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立大東小学校(埼玉県)

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウドの活用

1人1シート

・デジタルホワイトボードソフトやPowerPointで他者参照をしながら学習を進めていく。



使用した結果

- ①教員が児童の状況を **クラウド上で把握**しやすい。
- ②児童は、他者参照という **学習方法の選択肢が増える**。
- ③ **意図的に協働したい人を選び**、交流する児童もいた。

振り返りを一覧化・評価する

・学び方や教科にかかわることを振り返り、蓄積する。

児童A

角は、直角 2直角 3直角
4直角までであることがわかりました。三角定規の角を全部合わせるとまっすぐの線になることに気が付きました。



今日の勉強の初めは、意味が分からなかったので算数が得意な **■** さんに聞こうと思ったけど、**■** さんも分からなかったので先生に聞くことにしました。そしたら、すごく進んで、教えながらまとめて書きました。なので、この先難しくなってくるので、わからなかったときは、速くて正確な先生に聞こうと思います。次の勉強は簡単そうなので、一人か教えながらやろうと思います。**■** さん、**■** さん、**■** さんの振り返りがすごくよかったです。と思うのでその人たちの振り返りを参考にして振り返りを書こうと思います。

児童B

AとSの考え方がわからなかった時 **■** さんに聞いたらよくできました。角を作るのが苦手なので、できるようになりたいです。



思考のBと知識のBがわからなかった時、先生に聞いたら理解できたし、さらさら進めたので聞くタイミングとはんだんが正解だったなと思いました。昨日、タブレット教材で今日の予習をしたら、知識のSが間違いないの全問正解だったので、勉強の仕方は正しかったし、これからも続けていこうと思いました。昨日全部できなかった先生が出したがいすうがすべてとけたので、嬉しかったです。**■** さんが困っていた時に、教えたら **■** さんが理解できていたので、良かったです。

使用した結果

- ①教員が **端末上で振り返りを評価** することができる。
- ②自分にとって参考になった友達の振り返りを参照することで **自己調整をする学び方が学級に広まる**。
- ③振り返りを蓄積していくことで **児童が試行錯誤して学習に取り組んだ様子や成長を把握** できる。

6月13日

児童の振り返りの質が高まる

10月6日

リーディングDXスクール事業【実践事例】

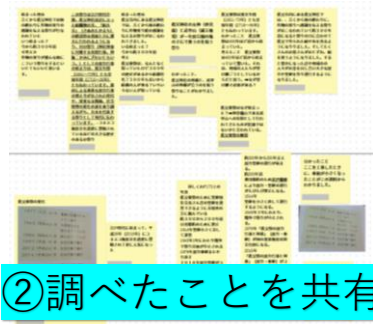
さいたま市立大東小学校(埼玉県)

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウドの活用

共同編集でみんなで学ぶ ・クラウド上で共同編集を行い、協働的に学習を取り組んだ。



①学級会で意見を共有



②調べたことを共有



③思考ツールで整理



④白地図にまとめる

①**意見を出し合う時間を5分**で済ませることができる。

なぜその意見を提案したか、賛成したか、反対したかの**理由も記録として残る**。

司会が指名→発表→黒板に記録の**時間を大幅に削減**できる。

普段意見を言えない児童も含め、**全員が意見表明**できる。

②調べたことを出し合う時間が短くなり、結果として**児童が活動する時間が増える**。

児童は他者参照しながら、自分にはない考えに触れ、**学びを深める**ことができる。

③紙の付箋とは異なり、それぞれの児童の手元で作業できるため、**効率的に作業**できる。

紙では難しかった、**グループ間の共有**もクラウド上では簡単に行うことができる。

④それぞれ調べたことを模造紙にまとめる時間がないので、**効率的に作業**できる。

紙の付箋とは異なり、1つのシートに**たくさんの情報をまとめる**ことができる。

作業中であっても、他の人が調べたことを手元のタブレットで**いつでも確認**できる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立大東小学校(埼玉県)

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等

Teamsで音読練習

- ・本文をPDF(Word)化する。
- ・課題機能を使って、配信する。

正確性

178
1分毎の正解率
総数

88%
正解率

4 読解音
5 挿入
6 自己修正

7 省略
8 繰り返し

お母さんが、ゆみ子を一生けんめいあやしているうちに、おたようさん父さんが、ふいといなくなりました。

お父さんは、プラットフォームのはしほがの、ごみすて場のような所に、わすれられたようにさいていたコスモスの花を見つけたのです。あわてて帰ってきたおたようさん父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。

「ゆみ、さあ、一つだけ、おたようさん、一つだけ」

学生の作業
最近済み 履歴の表示
一つの花を
受講者ビューでアクションを取る
フィードバック
フィードバックを入力
得点
点数なし ✓
送部

自動検出 プレビュー 中
学生に完全なレポートを返す 編集
時間の経過に伴う さんの進捗状況を確認します。

使用した結果

- ①作成した課題を学年で共有できる。
- ②音読カードを回収・点検・配付する必要がない。
- ③保護者の都合に関係はなく、児童がいつでも取り組める。
- ④児童は、採点結果をもとに、音読の仕方を改善できる。

Teamsで連絡帳を配信

連絡帳を確認するついでにデジタルドリルで復習や動画で予習をする児童も増えてきた。

- 昨日 14:31
- 10月12日(木)
- 児童
宿
- ・音読(課題チャネルで)
 - ・漢字テスト勉強(漢字ド25の①~⑩) 100点とれるように
 - ・国語と理科の振り返り振り返りシート クラウド上に理科の結果を記入しておく(班の結果)
- 持
- ・ピニル袋(色々な大きさや枚数があるといいかも?明日使います)
 - ・習字セット(火曜日使います)

使用した結果

- ①連絡帳が記録として残る。
- ②先生と児童が連絡帳を書く時間を削減できる。
- ③宿題やワークシートなどのリンクを貼ることができる。
- ④家庭でタブレットを開く習慣をつけることができる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立大東小学校(埼玉県)

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

個別最適・協働的な校内研修

・ 目標や研修方法を自分で決め、それぞれの学びたいことに取り組む「自走型」研修の実施。



一人で動画視聴



学年で協働して学ぶ



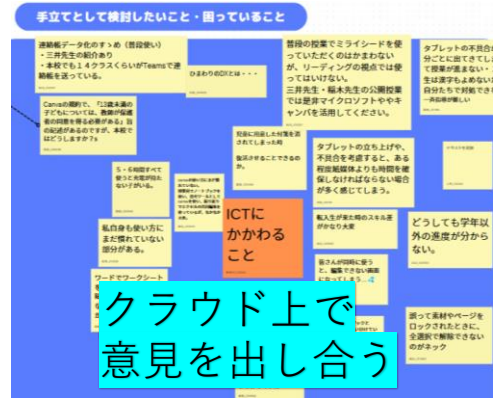
カフェスタイルの研修

クラウドを体験する校内研修

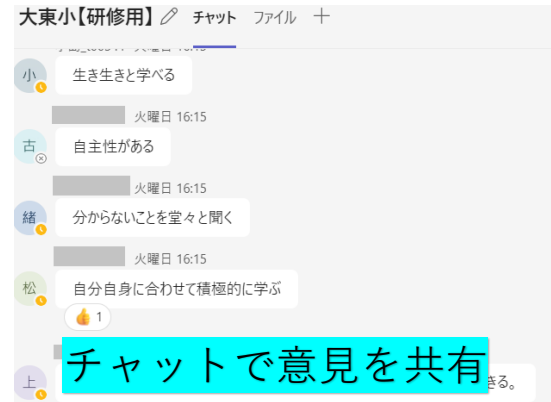
・ 授業で活用する前に、実際に触ってみて、クラウドのよさを体験する研修を行う。



クラウド環境を使った
模擬授業



クラウド上で
意見を出し合う



チャットで意見を共有

【取組内容④】校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

振り返りに対してフィードバック

9月28日(木) 振り返り	9月28日(木) フィードバック
<p>子ども目標でA評価になるように考えることは教える立場として、児童に例示できたり・授業中の声掛けの手立てになったりと効果的な活動だと思いました。また教科によって活用しやすい・しにくいものを自分なりに知ることが出来ました。ルーブリックをやりながら、苦手な子の学びを深めていくのが心配になります。振り返りで学びを確認しつつ、コミュニケーションを合わせてとっていくことが適正な評価になる・・・と感じているところです。</p> <p>実際の模擬授業をやっていたとき、イメージをつかむことができました。なかなか、表がうまく作れなくて苦戦していたので、今日の研修のものを参考に国語や道徳で活用しようと思います。</p> <p>新しいICTは使っていくことで効果的かどうか分かる。ひとまず使ってみて、全く使わなくなったものもあります。たぶん、使う人とアプリの合う合わないもあるのかなということも思いました。並行して、授業改善の意識も変わってきました。以前よりも子どもに任せることにも慣れ、任せるからには何は伝えておかなければいけないのかの視点も見えてきた。個人的には、①伺ができるように</p>	<p>こちらが評価の仕方を意識することで声掛けや最低限児童に示すミニマムがわかるような気がしています。4-4の学習が苦手な児童は、1学期に全く学びに深まりがありませんでしたが、友達や先生に聞いたり、自分で粘り強く問題に取組んでいたりと、長期的に見ると大きな成長を感じています。やはり、「魚を釣ってあげる」のは早くて楽ですが、「魚の取り方を教える」ことが長期的にみると大切なのだと実感しているところです。成果が出るまでは、手を替え足も替えになるかと思いますが…</p> <p>イメージをもっていただけで準備した甲斐があります。最近、国語と道徳で重要しています。手を挙げて発表一板板にまとめるという工程が一切必要なくなるので、その分の時間で協働する時間を増やしたり、振り返りの時間を確保したりできるので一石二鳥です。そして何よりも評価がしやすいです。ぜひ、取組をお願いします。</p> <p>使うツールとの相性は確実にありますよね。やはり大事なものはいろいろな選択肢をもっていることだと思いますので、先生のよういろいろなツールのメリットを助案して使用していただければと思います。DX=今の校内研修というイメージで大丈夫です。夏休みにDX研修で全国の自治体の先生と交流しましたが、大事小で取り組んでいる内容</p>

- ・ 校内研修の最後の5分で振り返りを行う。
- ・ それに対して、研修主任がフィードバックを行う。
- ・ 一人ひとりの先生の状態を把握し、それぞれに必要な支援や情報提供を行う。

- ↓
- ・ 次回の**研修の内容に生かす**ことができる。
 - ・ 困っていることを解決できるような**他の先生の実践を紹介**することができる。

校内の実践を研修チャットで共有



- ・ ICTの使い方や活用法を紹介、説明する。
- ・ 授業の様子を研修用チャットで共有する。

- ↓
- ・ ICTの操作の仕方・活用法などを校内に広め、**授業の引き出しを増やす**ことができる。
 - ・ 新しい挑戦をしている先生の背中を押し、**学校全体のDX化を推進**する。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立大東小学校(埼玉県)

【取組内容④】 DX化による働き方改革・業務改善

[025]大東小教職員

第7回職員会議資料 (9/4) 司会: 1年



7回 (9/4) 職員会議資料.pdf

承認済み



起案② (教務→教頭...)

給食だより

起案日

2023-10-25

発行日 (配信日)

2023-10-31

要求者

1:承認者

2:承認者

3:承認者

資料
確認者名

詳細を表示

会議資料のデータ化 (研修・職員会議等)

- ・ 職員会議や、教科部会、研修等で使う資料をクラウド(Teams)で共有する。
- ・ 議事録をクラウドで共有する。
- ・ 教職員の連絡をチャットで共有する。
- ・ 起案をクラウド上で行う。



資料や連絡をクラウドで共有することで、**印刷時間・会議時間・伝達時間**等の**削減**ができた。

お便りのデータ化

- ・ 保護者へ配付する学校で作成したお便りを全てデジタル配信にした。



(約1ヶ月間) →

- ・ **印刷時間・印刷用紙・印刷費用**の**削減**につながった。
- ・ **手紙配付時間**がなくなり、学級の時間にゆとりができた。(手紙1種類につき2~3分程度削減)

用紙の削減



ペーパーレス化・脱炭素

31,920 枚

デジタル化できたお便り配信数

印刷時間の削減



教職員の働き方改革

印刷枚数

分速

お便り印刷時間

31,920

枚 ÷ 100 枚 / 分 ÷ 60 分

5 時間

印刷費用の削減



教育資源の有効活用

お便り印刷費用

印刷単価

配信数

1.7

円 ×

31,920

枚

54,264

円

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立大東小学校(埼玉県)

【取組内容④】 DX化による働き方改革・業務改善

個人面談等、予約のデジタル化

- ・予約サイトに、面談可能日を担任が設定し、保護者に予約してもらう。
- ・担任は、予約されたデータをクラウド上で確認できる。



- ・保護者の都合を**確認する時間**を**削減**（資料配付・回収・整理）
- ・面談一覧表を作成し、お知らせする**業務を削減**

10月 2022							時間					
日	月	火	水	木	金	土	16:00	16:10	16:20			
						1						
2	3	4	5	6	7	8						
9	10	11	12	13	14	15						
16	17	18	19	20	21	22						
23	24	25	26	27	28	29						
30	31											

連絡のデジタル化

- ・連絡をクラウド上(Teams)で行う。
保護者⇒教員 教員⇔児童 児童⇔児童 教員⇔教員



- ・電話する時間やデータを印刷する時間、相手を探す時間を**削減**。
- ・連絡内容を**一斉に共有**・**クラウド上に保存**される。

教員⇔教員

おはようございます。
今朝はお話朝会になります。
各教室での視聴の準備よろしくお願いします。

保護者⇒教員

2023-11-13

年 組 お休みします。(用事等) 用事がある為、休みます。

欠席児童からの連絡

先生！教科書持ってないんですけどどうしたらいいですか？

すべて折りたたむ

それからそのせいでどこをやればいいのか把握できてないんです。

ドリルパークなどで明治時代について取り組もう

異学年交流の連絡

スノーマングループのみなさんへ

遅くなってすみません(-_-) ダンスクラブお疲れさまでした！！

11月6日(月)に撮った動画です！

この動画を見て、次回のダンスクラブまでに完ペキにしといてください☆

本番に向けて、頑張りましょう。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立大東小学校(埼玉県)

【取組内容⑤】 その他（実践内容を地域内外に普及するための具体的な取組等）

エバンジェリスト研修



大東小学校への質問	大東小学校記入欄
<ul style="list-style-type: none"> ・巡視する際を考えていること、事前の準備などは教員でほしいです。 ・ルーブリックは各クラスが設定している？それとも学校で単元ごとに考えている？ ・個別最適化の学習はいつから取り入れているのか（学年単ではどうしているのか） ・3年生の自由進度学習は、まだ科目の観点が身につくまでに時間がかかると思うが、3年生で取り入れている意図が知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には今まで通りの巡視とあまり変わりません。子どもたちが何をやっている、どのようなことを考えているのか、ただしいのか、アドバイスできることがあるのか。 ・準備は特ではありません。普通の教材研究と同じだと思います。 ・学年で作って試している授業です。まだ正解がないので・・・ ・昨年度の校内研修発表会に向けて行い始めました。本格的に全クラスで意識し始めたのは、今年からだだと思います。 ・個別最適な学びや協働的な学びを体験するために、自由進度学習は今年半で必要だと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・教科間のICTの使いやすさ ・共同編集機能のあるソフトの おすすめ ・授業内容とテスト問題のギャップ ・個別学習のまとめの仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科間というよりは、先生方の得意分野から始めてみたいと思います。私は算数から、●●先生は社会が得意なので社会から等。教科間にはそれほど差を感じていません。 ・CANVAとエクセルです ・今回のような授業形態でも認知（テスト）に大きな差はみられていません。しかし、非認知能力やメタ認知は授業に成果が出ています。 ・何をまとればいいですかね？そもそも授業の中でまとめ（一斉）が必要かどうかからの検討です。 ・個別のまとめは、課題設定・情報収集・整理分析を行っていただければ、おのずと、まとめの表現となると思います。どう表現を収集させて、整理させるかがポイントで、その成果がまとめ表現となるのかなと思います。

- ・市内のエバンジェリストに授業を公開し、各校へ情報を発信した。
- ・参観者からの質問に対して、授業者が授業の意図について一つひとつ回答した。

Teamsで情報発信



- ・市内の全職員が所属しているチームで、授業づくりやICT活用事例などの情報発信を行った。
- ・校内研修の様子をライブ配信し、160名を超える教職員が参加した。

市内に向けた動画作成(今後の予定)